

## 第1学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 みんな なかまだ

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

場や状況に応じた友達との関わり方を知り、互いによさを認め合って友達と仲良く過ごしていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

道徳科 「あったかことば ちくちくことば」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

道徳科 「ひょうじょうからきもちをかंगाえよう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

道徳科 「ともだちとかいわをつづけよう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

国語科 「なにに見えるかな」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

(2) 現在の学習

道徳科 「きもちをつたえよう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間（本時）

(3) これからの学習

生活科 「あきのおもちゃランド」・・・・・・・・・・・・・・・・・・7時間

5 本時の学習

(1) 目標

相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちや考えを伝えようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B(9)友情・信頼
-------------	-----------

(2) 普遍的な学習のテーマ なかまづくり

個別人権課題名 子ども

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ 本時の学習の方向付けをする。
あいてのきもちをかंगाえて、じぶんのきもちもつたえられるようになろう。	
2 相手と意見が違うときの自分の気持ちの伝え方を考える。	○ いろいろな伝え方を比べることで、言い方によっては相手を傷付けてしまうことに気付かせる。
3 具体的な生活の場面を振り返り、適切な伝え方を考え、発表する。	○ どのような伝え方をすれば、うまく相手に自分の気持ちを伝えることができるのかを考えさせる。 ②
4 本時のまとめをする。	○ 出てきた意見を学級全体で共有し、相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちや考えを伝えようとする意欲を高める。 ①

(4) 評価

○相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちや考え方を伝えようとする意欲を高めることができたか。 [価値的・態度的側面] ①

○友達の意見をよく聞き、自分の気持ちや考えを伝えることができたか。 [技能的側面] ②